

# 三輪電気自動車を活用した 低公害型公共交通システムの普及・実証事業 株式会社プロツァ(愛知県)

## ラオスの開発ニーズ

- エネルギーの対外依存の解消と国産の水力発電エネルギーの活用。
- 従来型自動車と二輪車の増加に伴い増加するCO2排出量の削減。
- 都市部における公共交通インフラの整備。

## 普及・実証事業の内容

- ルアンパバーン郡の世界遺産地区を通る2路線において、三輪電気自動車(3輪EV)を用いた定時定路線運行の実施。
- 利用者に対するアンケートやイベント・広報といった普及活動の実施。
- 実証結果を踏まえたルアンパバーンにおける今後の公共交通整備方針の提言。

## 中小企業の技術・製品



### 製品・技術名

—3輪EV「Pecolo」  
最高速度約40km/時、定員7名(ドライバー含む)。脱着式のリチウムイオン電池を搭載し、航続距離は約40km。

—バッテリー交換ステーション。  
バッテリー8台まで並列充電可能で、充電時間は3~4時間。

## ラオス側に見込まれる成果

- ガソリン車の代替として市民、行政のEVに対する理解を促進。
- クリーンエネルギーを活用したEVタウン・ルアンパバーンの魅力の向上。
- 官民による低公害型公共交通システムの自立的な運営の実施。

## 日本企業側の成果

### 現状

- 日本の3輪EVメーカーとしては初の量産体制を確立済み。
- 国内の部品メーカーとの協働によるEVの開発。

### 今後

- 収集された運行実績・収益・費用データを分析することにより、その技術的及び経済的優位性を実証。
- ラオスにおける技術者育成、サポート体制の確立。
- 現地生産体制の確立による製造コストの削減。